

令和2年度水稻害虫トラップ情報（7月上旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺数は、木造で7月からまとまった誘殺が見られているが、ほぼ平年並に推移している。今後、誘殺数が増加すると予想され、最盛期は7月中下旬になると考えられる。

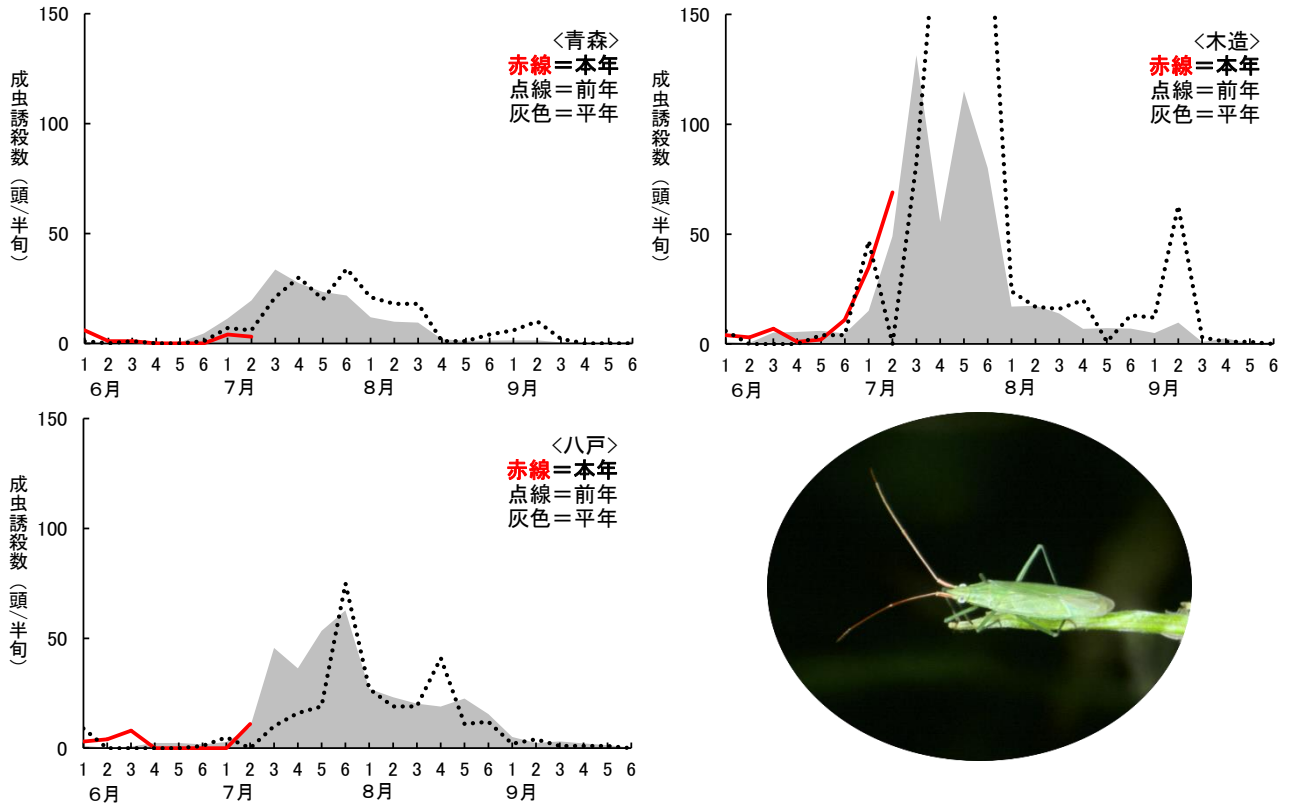


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

現在、第1世代が誘殺されており、誘殺数は木造及び七戸が平年より多く、青森、鶴田、八戸は平年並、十和田は平年よりやや少なく推移している。

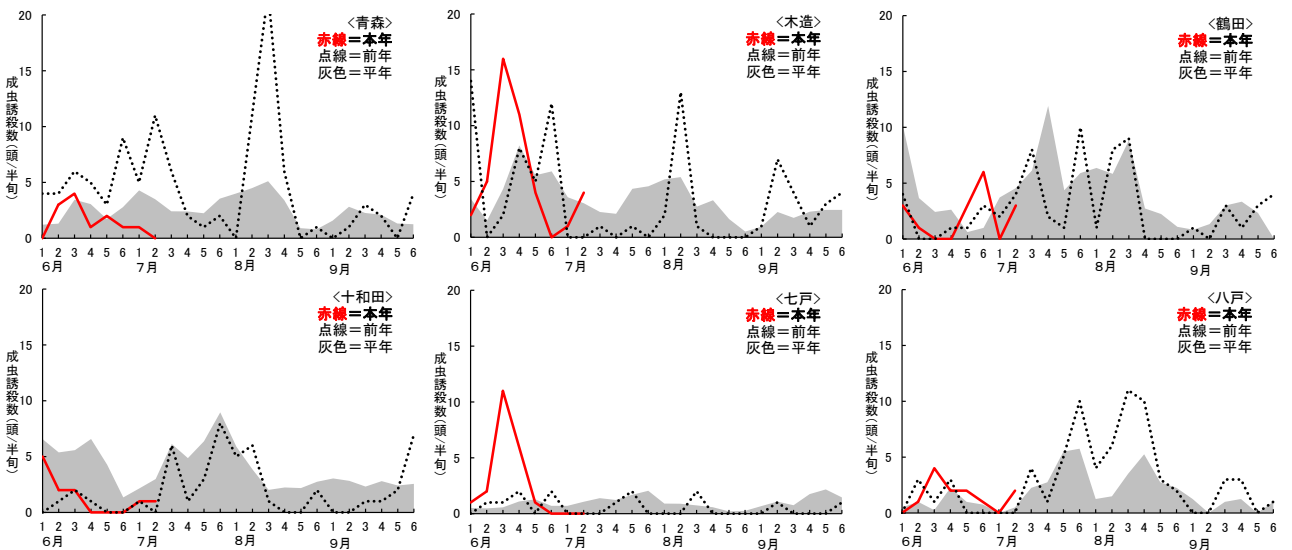


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

※平年値は、青森・十和田・七戸が前10か年、木造が前8か年、鶴田が前5年と平成22年、八戸が前4か年の平均値

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

越冬世代成虫は、青森及び木造で平年より早く誘殺されており、6月の誘殺数としてはやや多く推移している。

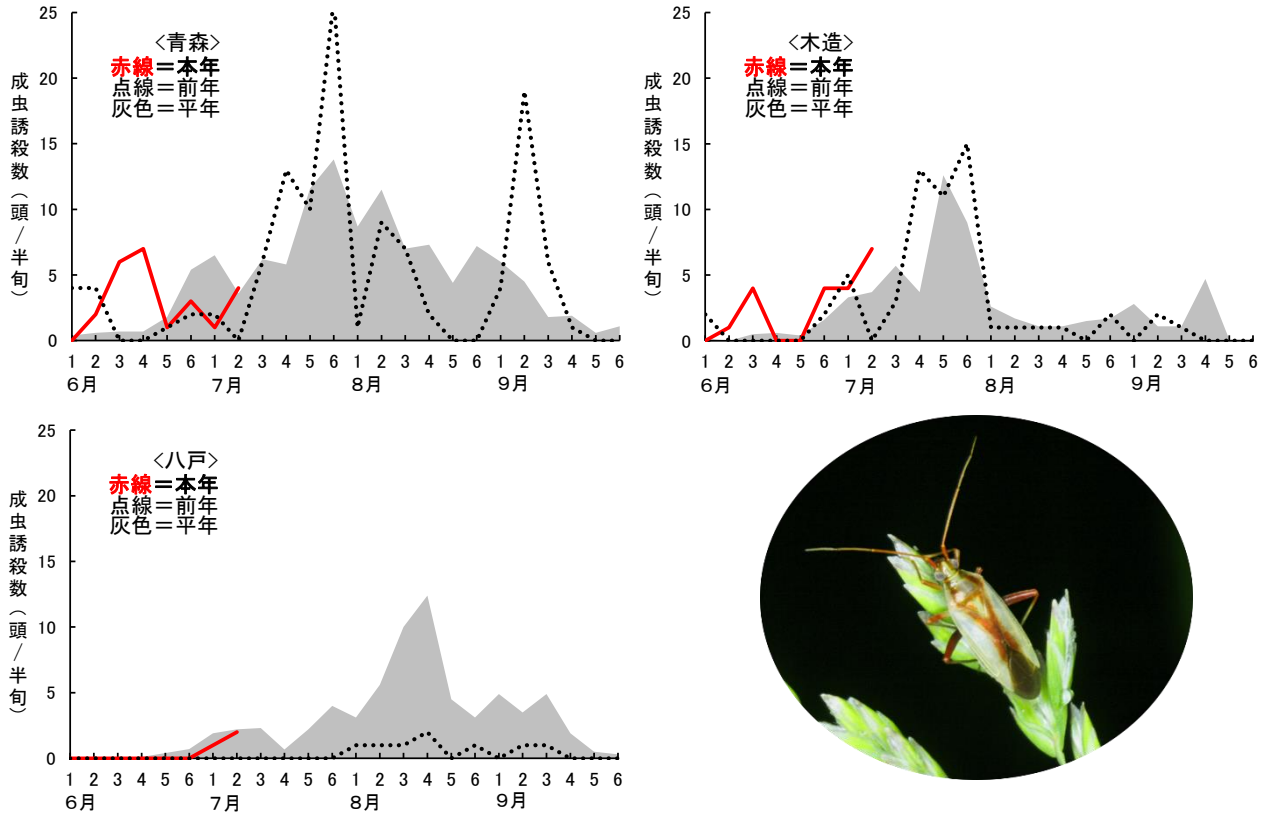


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

越冬世代成虫は、青森が6月上旬から、木造及び八戸が6月中旬から誘殺されており、誘殺数は平年並～やや多く推移している。

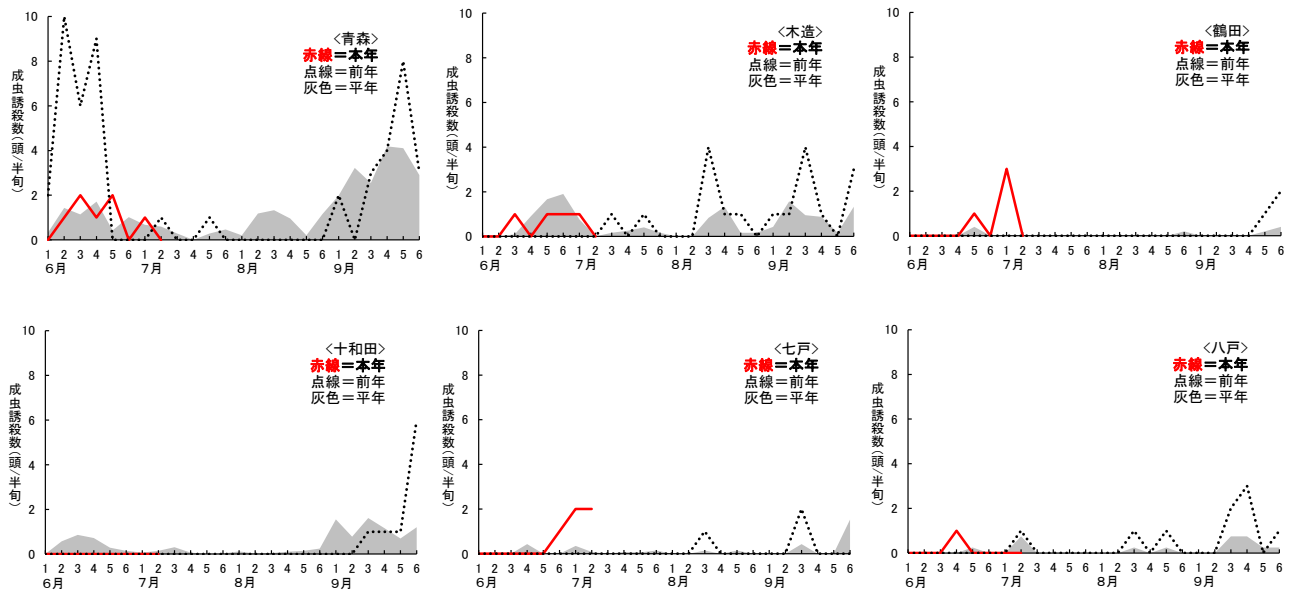


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

※平年値は、青森・十和田・七戸が前7か年、木造が前6か年、鶴田が前5年、八戸が前4か年の平均値

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺は、性フェロモントラップと同様に6月中旬～7月上旬に見られ、誘殺数は木造及び八戸が平年より多く、青森は平年並に推移している。

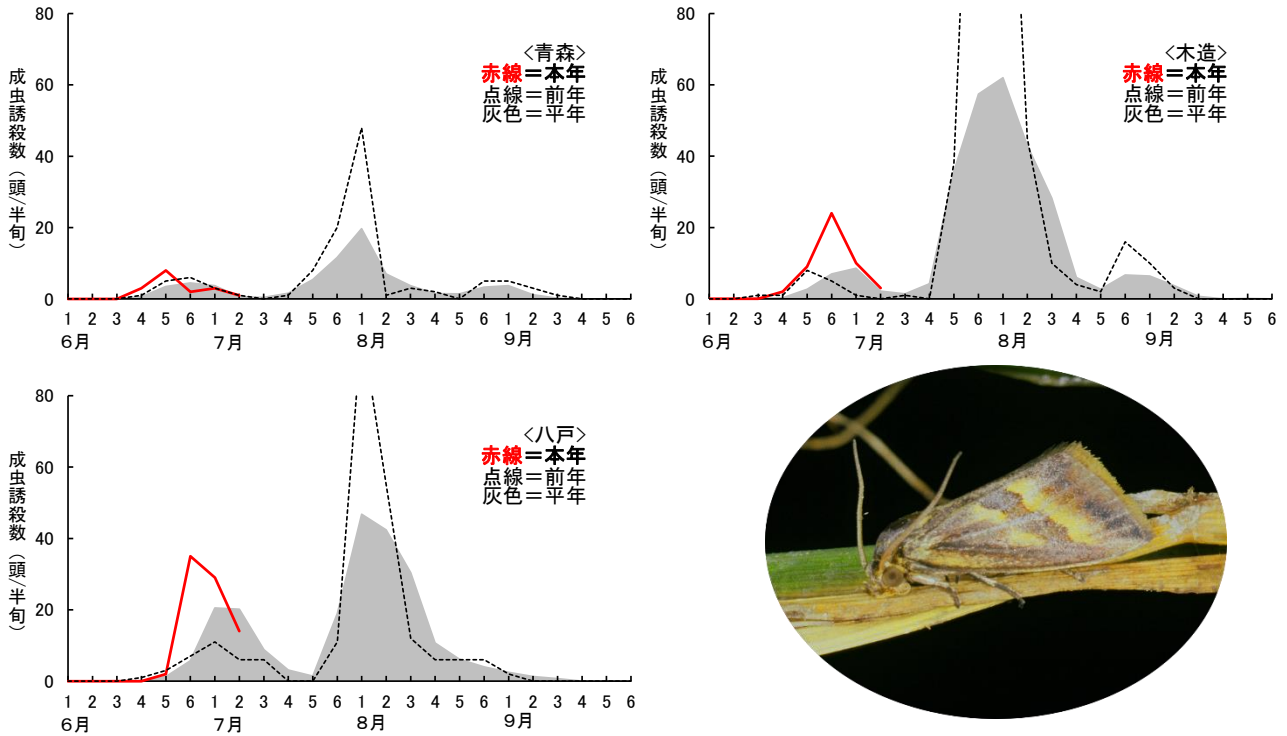


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

第1世代成虫の誘殺時期は6月中旬～7月上旬で、誘殺数は木造、鶴田、八戸が平年より多く、青森、十和田、七戸は平年並に推移している。

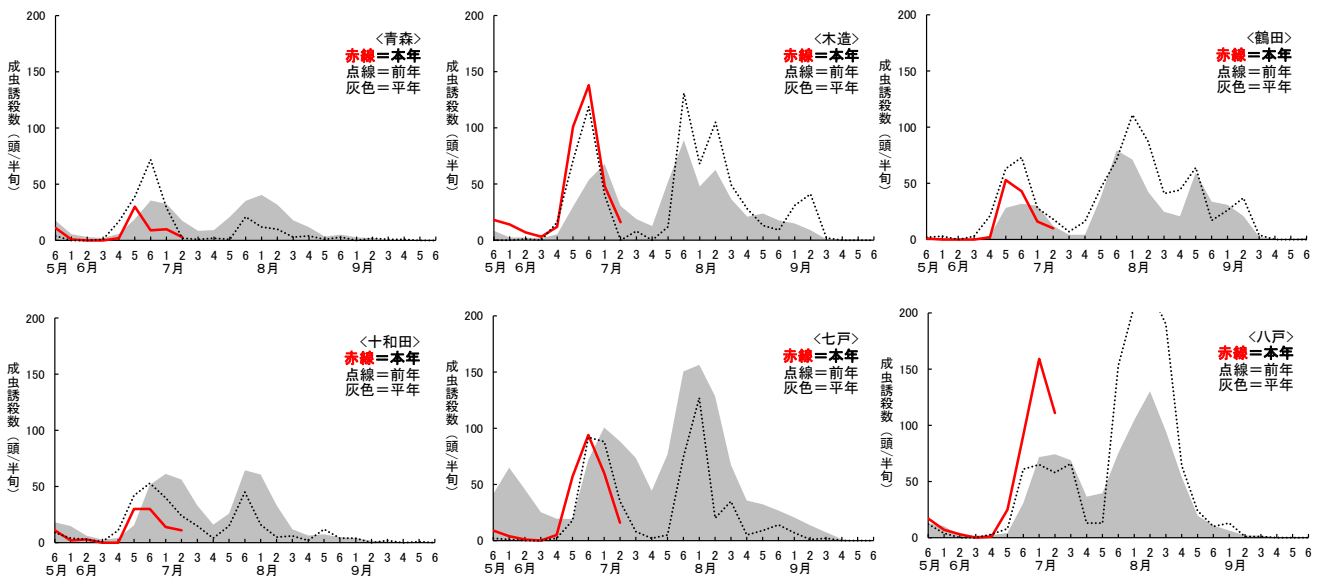


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 青森県病害虫防除所 担当：主幹 品川 聖也
 〒030-0113 青森市第二間屋町 4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900